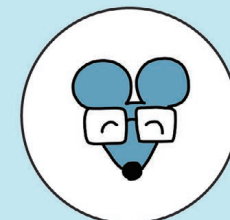
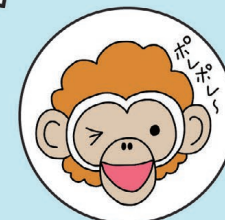


# 「キナガザルのポレポレ」って？

「キナガザルのポレポレ」（通称「ポレポレ」）は、子どもたちがキャラクターたちと一緒に楽しくあそび、のんびり学んでいけるようにデザインされたワークシートです。「ポレポレ」は「ゆっくり」という意味のスワヒリ語です。



## キャラクター紹介



キナガザルはのんびり屋のおさるさん。子どもたちと一緒にいろいろな「はてな」について考えます。

チュータはキナガザルの友達のねずみ。もの知りでしっかり者のナビゲーター的存在です。

## 正しさより面白さを！



制作・監修は東京学芸大学附属世田谷小学校の木村翔太先生。毎日子どもと接している先生ならではの目線で「学び」につながる「遊び」を紹介します。「正しさより面白さを大切に子どもと向き合しましょう」。





# ねらい ① あそびからのまなび

## 「まなび」と「あそび」

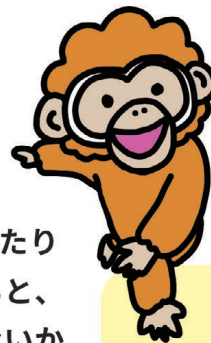
「まなび」という言葉にはどんなイメージがありますか？「あそんでばかりいないで勉強なさい！」という言葉の通り、「あそび」という言葉の反対語のようにも感じられます。確かに「勉強」というと、漢字を覚えたり計算ができるようになったりするための苦行のようなイメージがありますよね。そりゃあ、子どもは（大人も？）勉強が嫌いなわけです。



## 「あそんでいたら、まなんじゃった!!」

「どうしてだろう?」「これやってみよう!」という気持ちであそんでいるうちに、結果として、何かを覚えたり、何かができるようになったりするの、本来の「まなび」の姿なのではないでしょうか。そう考えると、「あそび」と「まなび」は、反対どころか、つながっていることじゃないかと思うのです。

「ポレポレ」は、子どもたちがつい夢中になってしまうようなテーマを大切にしています。そのテーマに向かって自分一人で、時には友達と一緒に夢中になって、のんびりあそんで（まなんで）ってほしいと思います。



## 「はてな？」が原動力!

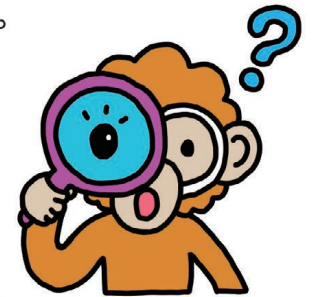
「あそび」や「まなび」の始まりには「はてな？」を持つことが大切です。疑問に思うからこそ「やってみよう!」という気持ちが生まれます。「ポレポレ」は毎回「〇〇のはてな？」というタイトルで子どもたちの疑問を探求します。



「ながさのはてな？」

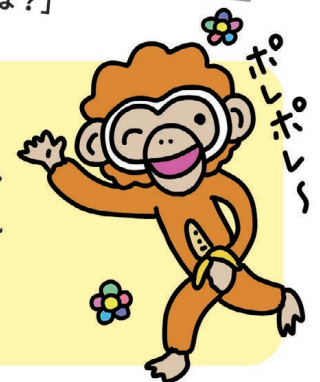


「じゃんけんのはてな？」



## ぬくもりのある手書き

文字やイラストは手書きにこだわりました。読みづらいところもあるかも知れませんが、印刷された文字に囲まれた現代だからこそ、手書きのぬくもりを感じてもらいたいと思います。







ねらい ②

## コミュニケーションのきっかけ

### 実はみんなに 自分のことを知ってほしい・・・

子どもたちの顔を思い浮かべると、コミュニケーションをたくさんとっている子と、そうじゃない子がいませんか？「社交的な子や手のかかる子のことはよく知っているけれど、物静かな子や手のかからない子のことはよく知らない」ということはよくあります。

でも子どもたちの多くは、実は

**「自分のことをみんなに知ってもらいたい」**

と思っています。引っ込み思案な子も、チャンスさえあれば自分のことを発信してくれるはずです。

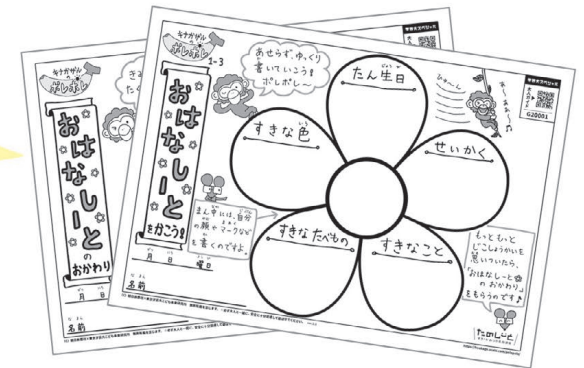


### 子どもの情報がつまった 「おはなしーと」

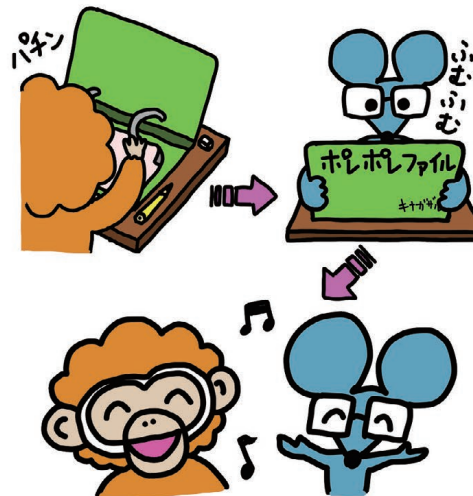


「ポレポレ」には、自分の“お話”を“お花”に書き込んでいく「おはなしーと」という自己紹介シートがあります。ワークシートを進めていくにつれて、その子の自己紹介の情報が増えていきます。

「おはなしーと」が1枚完成したら  
「おはなしーとのおかわり」を  
渡してあげてください。



### 「おはなしーと」で コミュニケーションを



「おはなしーと」をファイリングしておくことで、自分の成長や変化を見つめたり、大人が子どものことを知るきっかけになったりします。

さらに、子ども同士で発表し合ったり、どこかに掲示しておいたりすると、子ども同士のコミュニケーションにもつながります。

大人も自分の「おはなしーと」を書いて  
掲示しておくことで、子どもとの距離が  
ぐっと縮まるのでおすすめです。